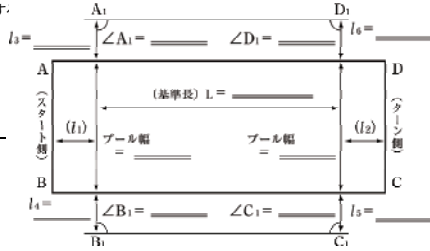


1. プールの名称
2. 測量条件 日時 20 年 月 日 時～ 時  
 天候 気温(T) °C  
 鋼巻尺の日本水泳連盟登録番号 (Ct= )

加盟団体名	
公認測量者署名	印

3. 基準点、寸法および四隅の角度(二重アンダーライン上に数値を記入す)

- ①  $A_1D_1 (=B_1C_1)$  の測定値=24,600m  
 (50mプールにあっては49,600m) (実施要領2-③参照)
- ②  $A_1D_1$  ( °C ) =  
 $Cp = (A_1D_1 + B_1C_1) / 2$   $\beta (P - P_0) =$   
 $Ct = (A_1D_1 + B_1C_1) / 2 \alpha (T - T_0) =$   
 基準長  $L = (A_1D_1 + B_1C_1) / 2 + Cp + C1 + Ct =$   
 $Cp$ : 張力による補正值(m)  $P$ : 測定時の張力(kg)  
 $P_0$ : 指定張力  $Ct$ : 温度による補正值(m)  
 $\alpha$ : 使用する鋼巻尺の膨張係数  $T$ : 測定時の気温(°C)  
 $\beta$ : 使用する鋼巻尺の張力補正係数  
 $T_0$ : 使用する鋼巻尺固有の標準温度  
 $C1$ : 器差による補正值



- ③  $l_1, l_2$  の計算  
 (スタート側)  $l_1 = \frac{l_1 \text{の総合計}}{4 \times \text{レーン数}} =$   
 (ターン側)  $l_2 = \frac{l_2 \text{の総合計}}{4 \times \text{レーン数}} =$

④ 四隅の角度

測角点	初 読	3倍角	平均値
$\angle A_1$			
$\angle B_1$			
$\angle C_1$			
$\angle D_1$			

- ⑤ プール長(各コースごとの  $l_1$  及び  $l_2$  のそれぞれの最大値に○、最小値に△をつけること。赤色マーク)  
 測定点①の  $L + l_1 + l_2$  はターン側にスタート台がある場合は、25,000m～25,010mまたは50,000m～50,010mとなる。  
 なお、タッチ板を付けないターン側スタート台は端壁より突き出さない

レーン	測定点	スタート側		ターン側		$L + l_1 + l_2$	レーン	測定点	スタート側		ターン側		$L + l_1 + l_2$
		$l_1$	$l_1 - \bar{l}_1$	$l_2$	$l_2 - \bar{l}_2$				$l_1$	$l_1 - \bar{l}_1$	$l_2$	$l_2 - \bar{l}_2$	
0	①						5	①					
	②							②					
	③							③					
	④							④					
	⑤							⑤					
	最凸部の $l_1 + ③$ の $l_2 + L =$								最凸部の $l_1 + ③$ の $l_2 + L =$				
1	①						6	①					
	②							②					
	③							③					
	④							④					
	⑤							⑤					
	最凸部の $l_1 + ③$ の $l_2 + L =$								最凸部の $l_1 + ③$ の $l_2 + L =$				
2	①						7	①					
	②							②					
	③							③					
	④							④					
	⑤							⑤					
	最凸部の $l_1 + ③$ の $l_2 + L =$								最凸部の $l_1 + ③$ の $l_2 + L =$				
3	①						8	①					
	②							②					
	③							③					
	④							④					
	⑤							⑤					
	最凸部の $l_1 + ③$ の $l_2 + L =$								最凸部の $l_1 + ③$ の $l_2 + L =$				
4	①						9	①					
	②							②					
	③							③					
	④							④					
	⑤							⑤					
	最凸部の $l_1 + ③$ の $l_2 + L =$								最凸部の $l_1 + ③$ の $l_2 + L =$				